

京都民医連あすかい病院

「リハビリテーションに強い地域の病院」という方針のもとに、6名の日本リハビリテーション医学会認定リハビリテーション科専門医・臨床認定医を中心にリハビリテーション医療を進めています。医師・看護師・介護職・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカー・臨床工学技士などの多職種とリハスタッフがチームを組み、患者・利用者中心のチーム医療を実践しています。



【当院概要】

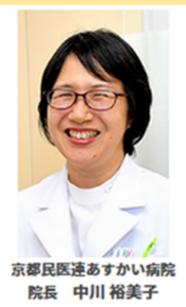
診療科：内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、外科、婦人科、整形外科、精神科、皮膚科、消化器内科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、リウマチ科、アレルギー科
病院機能：回復期リハビリテーション病棟 51床、地域包括ケア病棟 50床、一般病棟 43床、緩和ケア病棟 21床

院長ごあいさつ

私たちは医療従事者として様々な方との出会いがあります。思いもよらない病気の発症に戸惑い悩んだり、孤独や経済格差に苦しんだりされている方、障害を抱えながら地域で生活されている方、介護の負担に悩む方。せっかく生まれてきた、一度きりの人生、みんなが幸せになる権利があると思います。

健康はまるで空気のようなものと思いがちですが維持していくのは大変。私たちは皆さんと共に生きるため、医療や介護を通して「伴走者」になりたい、お手伝いがしたい。あくまでも主役は皆さん。あらゆる困難に寄り添いたいのです。そのためには病気の治療だけでなく医療費や介護の負担をへらす取り組みが必要です。差額ベッド代をいただかないこと、無料低額診療制度の普及にもこれまで通り取り組みます。

地域のあらゆる方々と手を結んで私たちは「共に生きるための伴走者」に近づこう職員一同努力したいと考えます。



京都民医連あすかい病院
院長 中川 裕美子

リハビリテーション医学会認定リハビリテーション科専門医



当院（法人）には5名のリハビリテーション医学会認定リハビリテーション科専門医と1名の認定臨床医がいます。主に内科、神経内科医であり、脳血管疾患、神経筋疾患、高齢者医療を中心にリハビリ外来、ポトックス外来、高次脳機能評価外来/もの忘れ外来などの専門外来を担当しています。当法人では医師との垣根が非常に低く、特にリハ医集団はリハスタッフといつもカンファレンスや勉強会で行動を共にすることが多いため、何でも聞ける存在です。若手の多いリハスタッフのためにいつも丁寧に指導してくれる優しい存在です。

リハビリテーション部



地域のニーズに応え、1997年に総合リハビリテーション施設（I）の認可を受けて以来、回復期リハビリテーション病棟等での入院リハから、在宅に戻られた後の生活期リハとして外来、通所リハ（デイケア）、訪問リハなどでリハビリテーションを提供してきました。医療では高次脳機能評価外来・もの忘れ外来、呼吸リハ外来などの専門外来を、保険外の活動としては「転倒予防教室」や「認知症予防教室」、「健口教室」の開催、地域懇談会でのさまざまなリハ講座など地域の介護予防・健康増進にも積極的に取り組んでいます。人材育成に力を入れ、新人研修（スーパーバイザーによる個別指導）、中堅研修、各種勉強会、外部講師による講習会、大学教授による臨床指導などの教育環境があります。近年は大学院へ通うセラピストも増えています。またライフワークにあった職場環境づくりをおこなっています。職員間の交流は盛んで、スポーツ（フットサル、バレーボール、バドミントン、バスケットボール、テニス、野球、ゴルフ、スキー）活動などを通じて職場のチームワークを図っています。

在宅リハビリテーション課 訪問リハビリテーション

在宅生活支援を行う上でなくてはならない分野です。生活の再建、維持向上を目標に院内外が多職種とチームをつくり、その人らしい生き方に寄り添ったリハを実践しています。左京区は在宅を支える開業医さんも多く、難病支援や終末期の看取りなどにも活躍しています。

在宅リハビリテーション課 外来部門

脳血管疾患、運動器疾患・神経筋疾患の患者さんが通院してこられます。入院から在宅への移行期、復職・復学支援などニーズは様々です。近隣の大学病院からの紹介患者も多いです。専門外来として高次脳機能評価外来/もの忘れ外来・呼吸リハ外来・嚥下摂食外来を行っています。回復期リハ病棟から外来に復帰された患者さんやポトックス後のリハビリテーションなども行っています。



入院リハビリテーション課 回復期リハビリテーション病棟部門

主な疾患は脳血管疾患、運動器疾患です。365日リハを実施しています。自宅での動作確認や応用動作訓練、家屋調査を行い、スムーズな在宅生活へつなげる援助を行っています（在宅復帰率：80%以上、FIM効率：45以上）。復職支援として障害者職業センター等と連携して積極的に取り組んでいます。多職種との合同勉強会や学会発表を奨励しスキルアップを図っています。栄養プロジェクトを立ち上げ、「リハ栄養」に力を入れています。



【リハ部理念】

- 患者・利用者さんのために、持てる力のすべてを発揮します。
- 患者・利用者さんの生活や生き方に寄り添い、目標を共有しながら、急性期から維持期まで、質の高いリハビリテーションサービスを提供します。
- 障がいを持った方の社会参加、地域の人たちの健康増進などまちづくりの取り組みを進めます。

入院リハビリテーション課 一般病棟部門

呼吸器疾患・廃用症候群・摂食嚥下障害が多く、その他脳血管疾患・整形外科疾患など、急性期から慢性期まで幅広い疾患があります。医師・看護と連携し、早期からのリハビリの介入を行っています。また、在宅分野と連携し、難病疾患患者の在宅支援を行っています。2015年より開設した地域包括ケア病棟では1日2単位のリハを実施し、在宅復帰を支援しています。



在宅リハビリテーション課 通所リハビリテーション



利用者様の多様なニーズに応えるべく、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を配置し、個々のニーズにあったリハビリテーションを積極的に行っています。また、要支援の方たちを対象に介護予防事業を展開、高齢者の健康増進・自立支援の取り組みを進めています。

介護老人保健施設 茶山のさと

施設概要

2階療養棟：定員35名
 (個室5室、2人部屋1室、4人部屋7室)
 デイルーム、浴室、スタッフルーム、面談室、コインランドリー
 3階療養棟：定員35名
 (個室5室、2人部屋1室、4人部屋7室)
 デイルーム、浴室、スタッフルーム、面談室
 通所リハビリテーション：定員35名



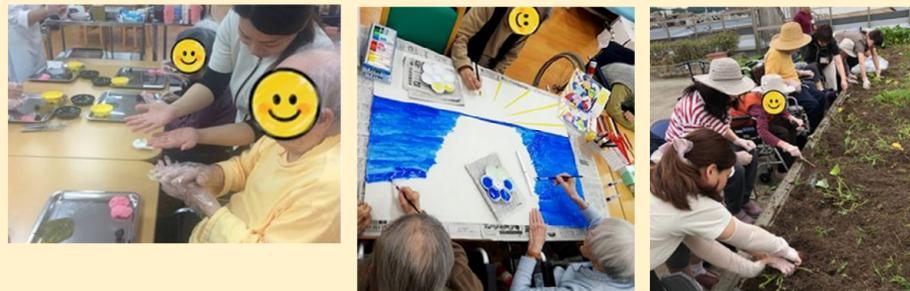
当施設「茶山のさと」は京都民医連あすかい病院（旧第二中央病院）の療養病床からの転換型老人保険施設いわゆる介護療養型老人保険施設として2011年11月3日に開設しました。

最近では茶山のさと栄養部と言語聴覚療法士が中心になり、京都の和食や和菓子を嚥下食で作った行事食を利用者に提供しています。日本料理のプロや和菓子職人の方とのコラボはマスコミでも取り上げられています。



リハビリテーション室

リハビリテーション室には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士の合計5名が在籍しており、入所されている利用者さん全員にリハビリを提供します。病院などの医療機関と異なり、「機能回復」として行うリハビリの時間や頻度は少なくなります。そのため普段の生活において、自分で行えることはできるだけ自分で、生活そのものがリハビリとしての意味を持つよう支援することが大切と考えます。利用者さんやご家族の思いに耳を傾け、今後を見据えながら、生活を築くためのお手伝いができればと思います。



通所リハビリテーション

プログラムの特徴としては1日の過ごし方を御自身で決めること、多種多様で豊富なプログラムメニューがあることです。また自身で歩ける方はなるべく歩いて移動していただくなど自分から動く機会をもつ事もリハビリのひとつとして関わっています。または筋力トレーニングなど機能訓練としてのリハビリの提供だけではなくその力で何が出来るのか、どんな楽しみがあるのかといった、生活との結びつきも大切にして関わっています。要支援対応のプログラムも別メニューで提供しています。プログラムは運動メニューが中心にしていますが、自信をつけてもらうために外出プログラムも取り組んでいます。



信和会のセラピスト



- ①京都民医連あすかい病院
京阪電車「出町柳」駅 徒歩13分／京都市バス「飛鳥井町」下車 徒歩2分
- ③あすかい診療所 通所リハビリテーション
京阪電車「出町柳」駅 徒歩13分／京都市バス「飛鳥井町」下車 徒歩2分
- ④川端診療所 通所リハビリテーション
鴨川をのぞむ診療所のデイクアです。居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを併設しており、連携を重視した事業所です。京阪電車「神宮丸太町」駅 徒歩3分／京都市地下鉄「京都市役所前」駅 徒歩10分
- ⑧介護老人保健施設茶山のさと・通所リハビリテーション
叡山電車「茶山」駅 徒歩5分／京都市バス「田中大久保町」下車 徒歩2分
- ⑨訪問看護ステーションたんぽぽ（訪問リハ）
色々な形でリハビリテーションを提供できるよう、訪問看護ステーションからも訪問リハを実施しています。看護師との連携を重視した事業所です。
- ⑥東山診療所 通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション
京都ではいち早く高齢社会をむかえた東山区。往診診療に力を入れている診療所です。高齢者も多く、リハのニーズの高い診療所です。訪問リハも実施しています。京阪電車「七条」駅 徒歩14分／JR奈良線「東福寺」駅 徒歩10分
- ⑦大宅診療所 通所リハビリテーション
山科区に位置する診療所です。近隣に山科南総合ステーションがあり、訪問看護、居宅介護支援事業所と連携をとりながら地域医療を行っています。京都市地下鉄「柳辻」駅 徒歩8分

セラピストのおもな出身校

- ・大阪行岡医療大学
- ・京都橘大学
- ・神戸大学
- ・大阪府立大学
- ・四条畷大学
- ・姫路獨協大学 など

子育て世代のセラピストも多く、働きやすい職場です!!

平均経験年数 10.8年
 平均年齢 35.4歳
 男女比 5.5 : 4.5



公益社団法人 信和会

リハビリテーション部代表

〒606-8226 京都市左京区田中飛鳥井町89

京都民医連あすかい病院リハビリテーション部

電話 075 (712) 9091

メールアドレス rihabiri@shinwakai-min.jp

公益社団法人信和会 リハビリテーション部 の紹介



2019.5月改訂